

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	本邦における気胸治療の実態調査：多施設共同後方視的研究 (倫理委員会承認番号：617)
当院の研究責任者 (所属)	飯田 智彦 (医務局呼吸器外科 科長)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	実施機関 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 理事長 門倉 光隆 昭和大学横浜市北部病院 病院長 研究責任者 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会委員長 澤端 章好 奈良県立医科大学 胸部心臓血管外科学講座 研究組織 代表機関 研究代表者 井貝 仁 前橋赤十字病院 呼吸器外科
本研究の目的	呼吸器領域において、原発性自然気胸、続発性自然気胸は遭遇する頻度が多い疾患です。しかし、その治療に関しては施設毎によって異なり、各々の病態に応じた適切な治療法が確立されているとは言い難いことです。この理由の一つとして、気胸に対する診療の実態が不明確であることが挙げられます。日本気胸・嚢胞性肺疾患学会では以上のような状況を鑑み、ガイドラインや臨床研究のコントロールに役立つデータベースを構築する必要性を認識しており、学術委員会を中心に原発性自然気胸、続発性自然気胸の実態調査を行うことが望ましいと考えました。
調査データの 該当期間	倫理委員会承認後～主解析終了まで
研究の方法 (対象となる方)	2019年4月1日から2020年3月31日の間に気胸と診断され、入院加療が施行された患者、もしくは他疾患で入院中の場合は同一入院期間内に加療が施行された患者とします。ただし、入院日が上記期

	間内であれば、加療による転帰日は2020年4月1日以降に及んでいても構わないものとします。
研究の方法 (使用する情報)	気胸入院症例を対象とし、その患者背景、疾患、治療法、退院時転帰の実態を調査し、退院時転帰に影響を与えた因子を明らかにします。
資料・情報の他機関 への提供	本研究では、前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝 仁がデータマネジメントを行い、データセンター担当者がデータマネジメント（データモニタリングを含む）を実施します。電子症例報告書（eCRF）及びマネジメントツールとして電子メールを用いデータ収集を行いますが、臨床検査データについては中央測定機関のデータを主とします。データセンターのデータ固定後に、解析責任者に対して固定データが提供されます。
個人情報の取扱い	カルテから抽出する段階で匿名化します。
本研究の資金源 (利益相反)	研究の資金源等については本病院の研究に掛かる資金および日本気胸・嚢胞性肺疾患学会の資金を使用します。本研究に係る利益相反はありません。
お問い合わせ先	<p>(研究組織 代表機関)</p> <p>日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会・委員</p> <p>前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝仁</p> <p>住所：群馬県前橋市朝倉町 389 番地 1</p> <p>T E L : 027-265-3333</p> <p>(研究分担者)</p> <p>君津中央病院 呼吸器外科 科長 飯田智彦</p> <p>君津中央病院 呼吸器外科 部長 藤原大樹</p> <p>住所：千葉県木更津市桜井 1010</p> <p>T E L : 0438-36-1071 (代表)</p>
備考	